

公明ひらつか



暮らしに健康の
安心・安全を

小笠原 千恵美 議員

風しん対策

問 国は子供の頃に予防接種の機会がなかった人への対策を行うが本市の取り組みスケジュールを伺う。

健康・子ども部長 5月下旬に国民健康保険の特定健診の通知と同時に対象者へ個別通知を発送して、6月以降に抗体検査が受けられるようにしたい。

受動喫煙対策

問 本市の分煙や受動喫煙に対する考えを伺う。

健康・子ども部長 望ましい受動喫煙を防止するため

に公共施設における分煙対策を徹底したい。

子どもの健やかな成長と子育てに係る負担の軽減

問 小児がん早期発見のため健診の項目に白色瞳孔や斜視を追加してはどうか。

副市長 健診などで医師や保健師が必ず確認している。3歳児健診では専門機関による検査を実施し、詳細にチェックしている。

問 おたふくかぜやロタウイルスの予防接種を公費で

助成する考えはあるか。

副市長 市単独での助成は難しい。国の定期接種化への検討を注視していく。

子どもが安心して学べる環境づくり

問 県のSNSによるいじめ相談の実施結果から市は今後どう取り組むのか。

教育指導担当部長 県教育委員会と情報交換をし、引き続き研究していく。

認知症への理解を深め共に生きる共生社会へ

問 2025年には高齢者の約5人に1人が認知症になると推測される。認知症への理解を深め、認知症に備えるという観点も重要と考えるが見解を伺う。



伊東 尚美 議員

め相談の実施結果から市は今後どう取り組むのか。

福祉部長 修了者が地域の認知症カフェや予防教室などに積極的に関わり、地域の自主的な活動につながるよう、サポートしたい。

乳児用液体ミルク

問 国内での乳児用液体ミルクの製造、販売が開始される。災害時の備蓄品に加えるべきではないか。

防災危機管理部長 乳児用液体ミルクは常温ですぐに飲ませられることなどから災害時の備えとして期待されている。今後の普及状況を見ながら研究していく。

問 認知症サポーター上級研修修了者が地域で活躍できる環境をどうつくるか。

福祉部長 これからの地域づくり、福祉づくりには共生社会がキーワードになると思う。手をつなぎあう街となるような施策を進めたい。

問 理由の2点目は事業が全て身内で完結していることである。経験のない不得手な分野の新規事業を、外部からの監視にさらされることなく完結すれば、検討段階の瑕疵が発見されるわけがない。縦割り行政の弊害の極み、本市行政機構の構造的欠陥である。速やかな改善が必要ではないか。

問 理由の3点目は収益性の視点が欠落していることである。行政財産の使用許可に供する際、その財産の価値や期待収益を全く考慮していない。払うときの賃料査定は車1台当たり年額3万7500円である。もうらうときの使用料査定は、車1台当たり年額僅か1800円で20倍以上の開きがある。全く話にならない。市民の貴重な財産の価値を著しく毀損するゆゆしき事態と考えるが見解を伺う。

湘南フォーラム



明日を見据えて
確かな町「ひらつか」を

小泉 春雄 議員

総合公園駐車場有料化のその後

問 総合公園駐車場の有料化後にあつた苦情や要望などはどのような内容か。

都市整備部長 入場後の無料時間の延長や平日の無料化、また混雑時に出庫に時間がかかるなどがあつた。

問 駐車場の出口が混雑して2時間の無料時間を1、2分超え、料金を取られたと聞いた。このようなことを解消できないか。

都市整備部長 南側駐車場に出口をもう1か所つくれないか事業者と協議をして

平塚の米作農業

問 本市の過去5年間の水田面積の変化を伺う。

産業振興部長 平成25年の作付面積は557ヘクタールで、25年から29年までは横ばいの状況である。

問 受託組織が請け負った面積と受託率を伺う。

産業振興部長 面積は25年が123ヘクタール、29年が149ヘクタールで増加している。水田面積に対する受託率は同様に22%から27%へと増加している。

問 受託組織であるライスセンターの新規設立への見解を伺う。

産業振興部長 新たな組織の設立に向け、JA湘南と連携し、地域への働き掛けや話し合いを進めていく。

問 ライスセンターの設立へ総力を挙げられないか。

市長 ライスセンターでなくとも受託をしている農家の規模が大きくあるので、

それをどうまとめいくか、具体の政策が進められるような検討と取り組みをしたいと考えている。

問 ライスセンターを含めた受託組織の後継者育成と農業機械の助成をしてほしいが、見解を伺う。

産業振興部長 できる限りの支援をしたいと考える。

このほかの質問

平塚駅周辺地区活性化ビジョンについて リトアニア共和国教育視察団の成果と課題

湘南フォーラム



府川 正明 議員



内堀 祐一 議員

平塚自民クラブ



駐車料金の93%が事業者の収入となる不可解な駐車場契約

柏木 徹 議員

問 庁舎及び文化ゾーン駐車場の有料化事業の問題点を整理すると、第一にガイドラインから逸脱した行政手続きの不備がある。第二にさまざまな積算から導かれた外れな収支計画と不当に安い行政財産の使用料がある。第三に事業目的を達成できない採点基準を使用した事業者の選定がある。行程が間違っていれば正しい結果は期待できず、受注者は大儲けである。一連の行為は行政財産のバーゲンセール、たたき売りである。事業の評価を伺う。

企画政策部長 事業者の選定では市内業者に配慮した採点項目を設けるなどしている。ずさんであるとの認識はない。1年間の事業を分析し事業者とサービス向上への協議を始めている。その結果を待ってほしい。

問 なぜこのようなあり得ないことが起きたのか。理由の1点目は時間の制約から事業の検討が未成熟で、見切り発車したことである。本市の悪しき習慣である。本事業は十分な時間を掛けて検討したのか。

企画政策部長 綿密な計画を立て、市行政の重要な運営方針などを審議する庁議

にかけるがら進めている。理由の2点目は事業が全て身内で完結していることである。経験のない不得手な分野の新規事業を、外部からの監視にさらされることなく完結すれば、検討段階の瑕疵が発見されるわけがない。縦割り行政の弊害の極み、本市行政機構の構造的欠陥である。速やかな改善が必要ではないか。

問 理由の3点目は収益性の視点が欠落していることである。行政財産の使用許可に供する際、その財産の価値や期待収益を全く考慮していない。払うときの賃

料査定は車1台当たり年額3万7500円である。もうらうときの使用料査定は、車1台当たり年額僅か1800円で20倍以上の開きがある。全く話にならない。市民の貴重な財産の価値を著しく毀損するゆゆしき事態と考えるが見解を伺う。

企画政策部長 市全体で使料の適正化を常に考えていかなければならない。このようなことについては適正化を図っていききたい。

問 理由の2点目は事業が全て身内で完結していることである。経験のない不得手な分野の新規事業を、外部からの監視にさらされることなく完結すれば、検討段階の瑕疵が発見されるわけがない。縦割り行政の弊害の極み、本市行政機構の構造的欠陥である。速やかな改善が必要ではないか。

問 理由の3点目は収益性の視点が欠落していることである。行政財産の使用許可に供する際、その財産の価値や期待収益を全く考慮していない。払うときの賃

料査定は車1台当たり年額3万7500円である。もうらうときの使用料査定は、車1台当たり年額僅か1800円で20倍以上の開きがある。全く話にならない。市民の貴重な財産の価値を著しく毀損するゆゆしき事態と考えるが見解を伺う。

問 理由の3点目は収益性の視点が欠落していることである。行政財産の使用許可に供する際、その財産の価値や期待収益を全く考慮していない。払うときの賃

問 理由の3点目は収益性の視点が欠落していることである。行政財産の使用許可に供する際、その財産の価値や期待収益を全く考慮していない。払うときの賃



吉野 和美 議員



白井 照人 議員

インターネット中継
本会議は、インターネットで生中継と録画中継を行っています。各議員の質問内容を詳しく知りたい方は市議会ホームページからアクセスしてください。録画中継は発言日のおおむね1週間後から、会議録をホームページに掲載するまでの間、ご覧いただけます。